

倒産・内定取り消しが発生 3月末カットオーバーに向けて一部需要増

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム開発全般について】

景気の低迷の影響がシステム開発業界にも波及し、業績不振に伴う倒産の話もしばしば聞かれるようになりまし。従業員規模が200～500名規模の会社の倒産はすでに昨年末ごろからいくつか発生し、大企業についても厳しい状況のところもあると聞いてきます。また昨今社会問題化している新卒の内定取り消しについても発生していると聞き及んでいます。これは2009年4月以降の需要が急減するであろうという予測の元に行われているようです。

このようにシステム開発業界全体として、最近は特に厳しい話をお聞きする機会が多くなってきており、全体としてはシステム投資について縮小傾向にあることは感じます。しかし、前回のレポートでもご報告しましたとおり、一部の企業ではこの機会に積極的に行うところもあり、システム投資について二極化がさらに進んできているような印象を受けます。

【技術者について】

3月末カットオーバーのプロジェクトが多いためか、コーディングやテストのための要員の引き合いが増えてきています。システム開発の予算が厳しくはなっていますが、年度末に稼働が必須となっているプロジェクトも多いため、テスト要員などが大幅に投入されるようです。しかし、この需要増は毎年この時期には多くみられ季節要因的なところがあるため、最近の需要増がシステム開発全体において明るい材料というわけではないようです。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7855 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp